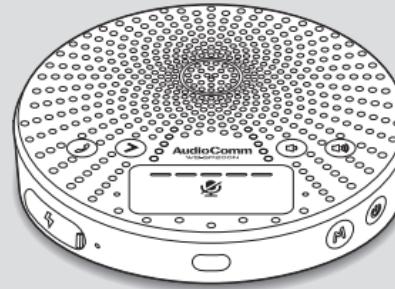


AudioComm®

取扱説明書

WEB会議用スピーカーフォン

型番：WB-SP200N 品番：03-1670



○OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735

電話受付	平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
------	---------------------------------------

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付	048-992-3970 平日 9:00~17:00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
------	--

このたびは、**AudioComm®** WEB会議用スピーカーフォンを
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目次

免責事項	1	充電のしかた	11
充電式電池について	1	Bluetoothモードで使う	12~13
安全上のご注意	2~5	USBモードで使う	14
防水性能について	5	マイクを使うときのご注意	15
WEB会議アプリについて	6	ボタンの機能	16~18
Bluetoothについて	6~8	故障かなと思ったら	19~20
各部の名称	9	お手入れのしかた	20
電源のオン／オフ	9	主な仕様	21~22
BluetoothモードとUSBモード	10	保証書とアフターサービスについて	22

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。



以下を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない
- 本製品には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。



以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

- 心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す
 - 電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
 - 航空機内や医療機器の近くで使わない
 - 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、
すぐに使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
 - 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。



警告

以下を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されますので必ずお守りください。

万一、内部に異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店または弊社お客様相談室にて連絡ください。

雷が鳴り始めたら、安全のため、本機及びUSBコードに触れない

- 感電するおそれがあります。

分解、修理、改造しない

- 火災・感電の原因となります。

自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。

また絶対に放置しない

- 高温になると、危険を防止するため充電式電池(リチウムポリマー電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

本機やUSBコードの上に重いものをのせない

- 破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。

USBコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、

ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

- コードが破損して火災・感電の原因となります。

付属のUSBコード以外では充電しない

- 火災や感電、機器の故障の原因となります。

火の中に入れない

- 本製品には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。



注意

以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定されますので十分ご注意ください。

小さなお子様の手の届かないところに保管する

- 思わぬ事故を招くことがあります。

長時間、大音量で聴き続けない

- 聴力障害などの原因となることがあります。

充電中は本機及びUSBコードにシャワーや水をかけない。

充電後はUSBポートカバーを確実に閉める。本機を長時間水中につけない

- 本機は完全な防水仕様ではありません。水のかかる場所では充電しないでください。

暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のある場所に置かない

- 破損・故障の原因となります。

振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、

不安定な所に置かない

- 落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

USBコードを熱器具に近づけない

- コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

- 内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

ほこりの多い場所に置かない

- 火災・感電の原因となることがあります。

USBコードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない

- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 必ずプラグ部を持って抜いてください。

⚠ 注意

以下を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定されますので十分ご注意ください。

自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない

- 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない

- 変形・変色の原因となります。

日本国以外では使用しない

- 本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
- 国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

防水性能について

本機はJIS C 0920:2003(IEC 60529 : 2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX5」(防噴流形：いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない)仕様となります。以下にご注意ください。

- 水がかかるおそれのある場所で充電したり、保管しないでください。
- 充電後は、USBポートカバーを確実に閉めてください。
- 長時間、水中につけてください(完全防水ではありません)。
- 石けんの泡やオイルのついた手でさわらないでください(水分が浸入する可能性があります)。
- ドライヤーで乾かさないでください(密閉部が変形する可能性があります)。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

WEB会議アプリについて

- ZoomやTeamsなど、WEB会議やビデオチャットで使うアプリケーション(本書ではWEB会議アプリと言います)は、本機には付属しておりません。事前にお使いのパソコンやスマートフォンにダウンロードし、インストールしてください。
- WEB会議アプリの操作及び本機での動作については、保証サポートの対象外となりますので、ご了承ください。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、無線通信により、音楽や通話を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本製品は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本製品のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

【バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.3

【プロファイル】

- HFP(ハンズフリーで通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
 - A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
 - AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)
- ※同じプロファイルに対応していても、本製品の性能・機能が制限される場合があります。
- ※本製品はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティについて

本製品はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本製品の機器認定について

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。



使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

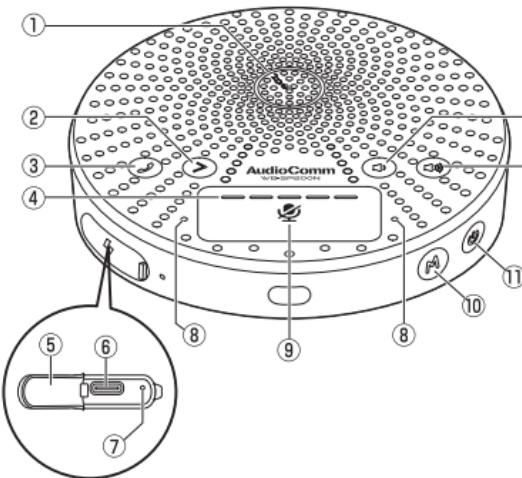
2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。

3.のほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

- 使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では、絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離して携行及び使用してください。電波により、ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・ 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・ 病棟内では本製品を使わない。
 - ・ ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・ その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方、自宅などで療養中の方は、本製品をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称



- ①スピーカー
- ②再生／一時停止／スキップボタン
- ③通話ボタン
- ④インジケーター
- ⑤USBポートカバー
- ⑥USBポート(Type-C)
- ⑦充電ランプ
- ⑧マイク
- ⑨ミュートボタン(タッチセンサー)
- ⑩ペアリングボタン
- ⑪電源ボタン
- ⑫音量ボタン(大)
- ⑬音量ボタン(小)

電源のオン／オフ

電源 オン

電源ボタンを長押しします。

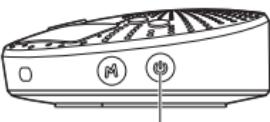
- 起動音が鳴り、インジケーターが点滅／点灯します(点滅／点灯のしかたはP.10参照)。

電源 オフ

電源ボタンを長押しして、指を離します。

- インジケーターが消えたら、指を離してください(電子音は鳴りません)。

自動電源オフ機能:Bluetoothモードでサーチモード(未接続状態)が約5分続くと、本機の電源は自動で切れます。



電源ボタン

BluetoothモードとUSBモード

本機はワイヤレス(Bluetoothモード)と有線(USBモード)の2つの方法で、パソコンなどと接続できます。また、どちらのモードでも、接続機器内の音楽ファイルを再生できるほか、電話着信時には本機のスピーカーと内蔵マイクを通して通話ができます。

■BluetoothモードとUSBモードの切り換え

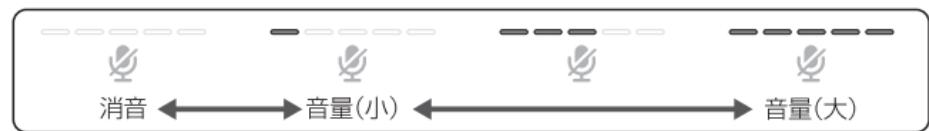
電源ボタンを短く押すと、BluetoothモードとUSBモードを切り換えることができます(付属のUSBコードを使い、パソコンと正しく接続されている場合のみ、USBモードに切り換えることができます)。

■インジケーターの点滅／点灯表示

	Bluetoothモード	USBモード
接続・音楽再生時	青(全灯・点滅／点灯)	白(中央1灯点灯)
WEB会議アプリ・通話時	緑(全灯点灯)	白(中央1灯点灯)
	マイクミュート時は赤(全灯点灯)	
音量操作時	白(レベルにより点灯数が変化 ※下記参照)	
電池残量少	赤(全灯点滅)	—

■音量操作時

一時的に音量レベルが白(点灯)で表示されます。音量の上げすぎにご注意ください。

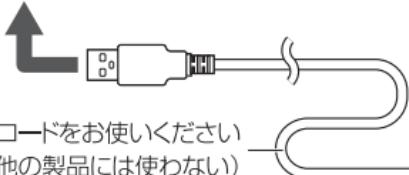


消音 ← → 音量(小) ← → 音量(大)

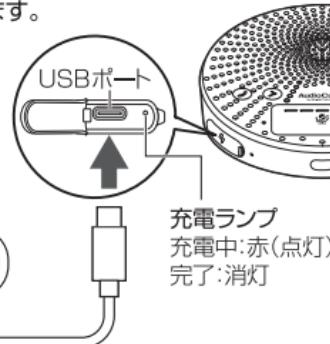
充電のしかた

USBポートカバーを開け、本機とパソコンなどを接続します。

パソコンのUSB3.0ポート
1A以上のUSB-AC電源アダプター
充電器など



必ず付属のUSBコードをお使いください
(他の製品には使わない)



- 付属のUSBコードは他の製品には使わないでください。
- 本機をパソコンで充電したり、USBモードで使うときは、USBハブなどを介さず、電源供給ができるUSB3.0ポートに直接つないでください。
- 充電中にパソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
- 家庭用コンセントで充電する場合は、1A以上のUSB-AC電源アダプター(別売)をご利用ください。
- 電池残量が少なくなるとインジケーターが赤く点滅します。早めに充電してください。
- 残量ゼロからフル充電まで約3時間かかります。十分に充電したにもかかわらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- Bluetooth接続時、USBコードを接続したままでも本機の使用は可能です。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

Bluetoothモードで使う

Bluetoothモードで使うときは、事前に十分に充電してください。

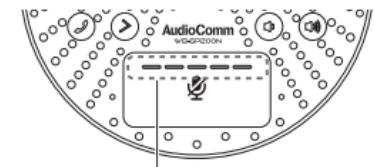
ペアリングする

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器:パソコン、スマートフォンなど)に初期登録する操作のことです。はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

1

相手側機器と本機を近づけ、双方の電源を入れます。

- 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
- 相手側機器→本機の順で電源を入れます。
- 本機の電源を入れると、インジケーター(全灯)が青く点滅してサーチモード(接続可能な機器を探している状態)になり、しばらくすると点滅が速くなります(初めてペアリングするときなど、ペアリング履歴がないときは最初から速く点滅します)。



2

相手側機器で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

Windows 10	[スタート]→[設定]→[デバイス]→[Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する]
Mac OS	[システム環境設定]→[Bluetooth]
iPhone	[設定]→[Bluetooth]
Android	[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth] [設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより異なりますので、各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称「WB-SP200N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。
※機器によっては、ご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

電子音が流れていンジケーター（青）が点滅から点灯に変わります。本機では、音量ボタン（大／小）で音量調節ができます。また、接続する機器やアプリケーションによっては、他にも様々なボタン操作が可能です。詳しくはP.16～18をご確認ください。
使い終わったら、本機の電源を切ってください。

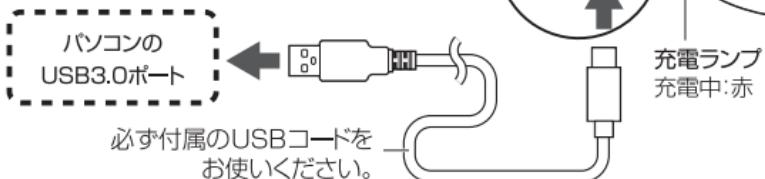
- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル:HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 相手側機器が他の機器とBluetooth接続中は、本機とのペアリングができないことがあります。他機との接続を解除したうえで本機とペアリングしてください。
- 使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは、
 - ・本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してみてください。また、相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください（接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください）。
 - ・上記を試しても正常に戻らない場合は、ペアリングボタンを長押しするか、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

USBモードで使う

付属のUSBコードを使ってパソコンと接続し、有線で本機を使えるモードです。USBモードは、USBコードが正しく接続されているときのみ有効です。

- 1 パソコンの電源が入っている状態で、付属のUSBコードを使って双方を接続します。

- 電源供給ができるUSB3.0ポートに接続してください。



- 2 本機の電源ボタンを長押しして、電源を入れます。

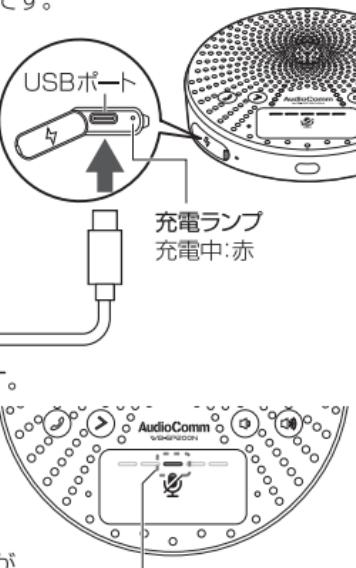
- 電子音が鳴り、インジケーター（中央1灯）が白く点灯します。

- 3 本機または接続機器で、音量調節などの操作をしてください。

- 本機では、音量ボタン（大／小）で音量調節ができます。また、接続する機器やアプリケーションによっては、他にも様々なボタン操作が可能で。詳しくはP.16～18をご確認ください。

- 4 使い終わったら、電源ボタンを長押しして、インジケーターが消灯したら指を離します（電源が切れます）。

- 接続を解除するときは、事前に本機の電源を切ってください。



USBモードでは中央の1灯のみ白く点灯

マイクを使うときのご注意

WEB会議アプリや通話で本機のマイクを使うときは、パソコン側で使用するマイクの設定が必要な場合があります。実際に使ってみて本機のマイクが機能しないときや相手に伝わる音量が小さいときは、以下をご確認ください。

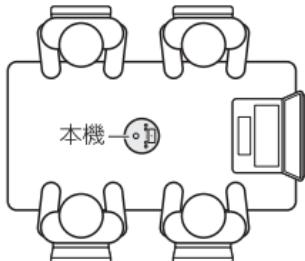
Windows 10

- [スタート]→[設定]→[システム]→[サウンド]→[入力]で、本機が選ばれていることをご確認ください。
Bluetoothモード:WB-SP200N Hands-Free AG Audio
USBモード:USB Audio & HID
- 「デバイスのプロパティとマイクのテスト」でマイクの感知レベルを確認し、適切に設定してください(設定が低いと相手に音声が伝わらず、高いと音割れなどの原因になります)。

Mac OS

- [システム環境設定]→[サウンド]→[入力]で、本機(USB Audio&HID)が選ばれていることをご確認ください。
Bluetoothモード:WB-SP200N
USBモード:USB Audio & HID
- 同画面で入力音量のレベルをご確認ください。

- 本機には全指向性マイクが2基搭載されており、全方位からの音声を感じます。
- 複数の人数でWEB会議をするときは、できるだけ各人から等距離に本機を置いてください。
- 本機にはノイズキャンセリング機能が搭載されており、周囲の雑音などを低減します。ただし、複数人でのWEB会議の場合、一部の音声に影響を及ぼすことがあります。
- マイク部を書類や布類などで覆わないでください。また、本機の近くに書類などを置くと、ページをめくる音や紙の摩擦音を拾いやすくなりますのでご注意ください。



ボタンの機能

接続する機器やOS、使用中のアプリなどにより、動作が異なっていたり、操作できない場合があります。

ミュートボタン(タッチセンサー)について:

ミュートボタンは、静電気の影響を受けやすく、使用環境(季節や空気の乾燥具合、着ている服の材質など)によっては、意図せず反応する場合があります。マイク使用中はインジケーターの表示を適宜確認してください。

WEB会議アプリ使用時

Bluetoothモードではインジケーターが全灯緑色に点灯し、USBモードでは中央1灯が白く点灯します。音量調節時は、音量レベルを一時的に表示します。

音量ボタン(大)	スピーカーの音量を上げます。
音量ボタン(小)	スピーカーの音量を下げます。
電源ボタン	長押しで電源をオン／オフします。
ミュートボタン	指で触れるとマイク入力を中断します。もう一度指で触ると元に戻ります(ミュート中はインジケーターが赤に変わり、ミュートを解除すると元の色に戻ります)。

電話着信時

電話着信時はインジケーターが緑色に点滅し、通話中は点灯します。音量調節時は、音量レベルを一時的に表示します。

 通話ボタン	着信音が鳴っているときに押すと、電話に出ます(2秒間長押しすると、着信拒否になります)。 通話中に押すと、電話を切れます。
 音量ボタン(大)	スピーカーの音量を上げます。
 音量ボタン(小)	スピーカーの音量を下げます。
 電源ボタン	長押しで電源をオン／オフします。
 ミュートボタン	指で触れるとマイク入力を中断します。もう一度指で触れると元に戻ります(ミュート中はインジケーターが赤に変わり、ミュートを解除すると緑色に戻ります)。

- 通話機能のある機器(スマートフォンなど)に接続時ののみ有効です。
- スマートフォンとの接続時、機種や設定によっては、着信音が本機から1回だけ聴こえたり、その後はスマートフォン側から通常の着信音が出力される場合などがあります。
- 電話に出たのに本機から音声が出力されない場合は、スピーカーの音量を確かめてください。それでも直らないときは、接続機器側で音声の出力先が本機になっているか、消音になっていないかなどをご確認ください。

音楽再生アプリ使用時

Bluetoothモードではインジケーターが全灯青色に点灯し、USBモードでは中央1灯が白く点灯します。音量調節時は、音量レベルを一時的に表示します。

 再生／一時停止／スキップボタン	短く押すと再生を一時停止。もう一度押すと、再生を再開します。短く2回続けて押すと次の曲へスキップし、短く3回続けて押すと、前の曲にスキップします。
 音量ボタン(大)	スピーカーの音量を上げます。
 音量ボタン(小)	スピーカーの音量を下げます。
 電源ボタン	長押しで電源をオン／オフ。USBコード接続時は、短く押すとUSBモードとBluetoothモードを切り替えます。
 ペアリングボタン	Bluetoothモード時、長押しするとペアリングを解除し、サーチモードになります。もう一度短く押すと、元の機器と再接続します。

故障かなと思ったら

■全般

充電できない	<ul style="list-style-type: none">・本機とパソコンのUSB3.0ポート、USB-AC電源アダプターなどがUSBコードで正しく接続されていますか。・付属品ではないUSBコードを使用していませんか。
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・電源ボタンを長押ししましたか(短く押していませんか)。・Bluetoothモード時:十分に充電しましたか。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・Bluetooth接続時:ペアリングしましたか。・Bluetooth接続時:相手側機器との間に障害物があつたり、距離が離れすぎていませんか。・USBモード時:パソコンの音声出力設定が他の機器になつていませんか。・本機または接続機器の音量が最小(消音)になつていませんか。
マイクが使えない	<ul style="list-style-type: none">・パソコンのマイク(音声入力)設定が他の機器になつていませんか。・ミュートしていませんか。・書類や衣類などでふさがれていませんか。

■USBモード

USBモードが選べない	<ul style="list-style-type: none">・パソコンのUSB3.0ポートと正しく接続されていますか。・付属品ではないUSBコードを使っていませんか。・電源ボタンを押して、モードを切り換えるか。
-------------	---

■Bluetoothモード

ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none">・相手側機器の電源は入っていますか。・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。・相手側機器との間に障害物があつたり、距離が離れすぎていませんか。
Bluetooth接続ができない	<ul style="list-style-type: none">・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。・相手側機器が他の機器と接続していませんか。・相手側機器がスリープ状態になつていませんか。・相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。
ノイズやエコー音がする	<ul style="list-style-type: none">・相手側機器との間に障害物があつたり、距離が離れすぎていませんか。・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

■リセット方法

電源オンの状態で、音量ボタン(大)と音量ボタン(小)を同時に2秒間長押しすると、本機を工場出荷状態にリセットすることができます。リセット中は、赤→青→緑→白の順でインジケーターが点灯し、完了するとBluetoothモード(サーチモード)になります。

お手入れのしかた

必ず電源を切ってから行なってください。

- 本機の表面が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

主な仕様

電源	DC5V(USB給電：USB Type-C入力端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 1000mAh)
実用最大出力	5W
再生周波数帯域	100Hz～20kHz
スピーカー	口径50mm(4Ω) ×1
SN比	≥90dB
マイク	全指向性マイク×2(集音範囲：360°、感度：-32dB)
防水性能	IPX5(防噴流形)
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.3
対応プロファイル	HFP、A2DP、AVRCP
変調方式／周波数帯域	GFSK / 2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
充電時間	約3時間(残量ゼロからフル充電まで)
連続通話時間	約7時間(50%音量)
許容動作温度／湿度	温度：0～40℃ 湿度：20～80%(結露なしにて)
外形寸法	幅99×高さ36×奥行99mm(突起物を除く)
質量	約137g
付属品	専用USBコード(長さ約150cm)、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、連続通話時間は目安であり、使用状況によって異なります。また、充電器による充電時は、充電器の容量によって充電時間が長くなる(もしくは短くなる)場合があります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※取扱説明書のイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。